

IR

第56期第1四半期 営業のご報告

2019年4月1日～6月30日



第55期定時株主総会 原案どおり承認可決

2019年6月27日(木)午前11時から、広島市西区にある広島サンプラザにおいて、第55期定時株主総会を開催いたしました。

議決権を行使された株主の方は1,854名で、そのうち当日議場にご来場いただいた方は132名、議決権行使比率は88.8%となりました。

総会の所要時間は81分で、議案は全て原案どおり承認可決されました。

また、総会終了後に当社製品の試食会を開催いたしました。



【株主総会の目的事項】

■報告事項

1. 第55期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人および監査等委員会の第55期連結計算書類監査結果報告の件

■決議事項

- 第1号議案 剰余金処分の件
- 第2号議案 取締役(監査等委員である取締役を除く)8名選任の件
- 第3号議案 監査等委員である取締役3名選任の件

■新体制のご紹介

本総会では、取締役8名、監査等委員である取締役3名が選任され、それぞれ就任いたしました。

監査等委員である取締役に就任した樋口は新任ですが、長年にわたり、当社経営管理部門の担当役員として会社経営に手腕を発揮するなど、経営管理全般の豊富な業務経験と経営に関する幅広い知見を有しているため、財務および会計的な見地から当社の経営に対する監視を行っていただけると判断いたしました。

なお、本総会終了後に開催された取締役会および監査等委員会では、代表取締役・役付取締役および常勤監査等委員などが選定され、それぞれ就任いたしました。

この新体制で、当社の経営基盤をより強固なものとし、さらに事業の発展に努めてまいります。

◎ 新たな役員の陣容は、次のとおりです。

代表取締役社長	足利 恵一
代表取締役専務	豊田 太
常務取締役	松岡 宣明
常務取締役	江角 知厚
常務取締役	玉井 浩
常務取締役	足利 直純
取締役	沖 浩志
取締役	澄田 千穂
取締役	樋口 研 治 (常勤監査等委員)
取締役 (社外)	川平 伴 勅 (監査等委員)
取締役 (社外)	稲葉 琢 也 (監査等委員)

株主優待品アンケート結果のご報告

2019年5月下旬に同年3月31日時点で100株以上保有いただいている株主のみなさまに対し株主優待品として自社取扱品を送付させていただきました。

100株以上500株未満の方には「国産生姜ごぼう茶(14包)」、「焙煎ごぼう入り 国産十八穀米(5包)」を、500株以上1,000株未満の方には「NH冷凍厚焼玉子ML2 20#カット」、「手焼風刻みきんしDn-Ex」、「炭火焼鶏めしの素 240g」、「冷凍ハンバーグ(デミグラスソース) 10個入」を1,000株以上の方には、500株以上1,000株未満保有の株主さま贈呈品目に加え「スティックチャイナポテトRN1kg」を送付させていただきました。

優待品に同封しましたアンケートでは、株主のみなさまから多くのご意見をいただき、大変参考になりました。心よりお礼申し上げます。いただきましたご意見をもとに、来年以降の優待品の内容を検討してまいります。紙面の都合上、一部掲載ではございますが、アンケート結果をご報告させていただきます。

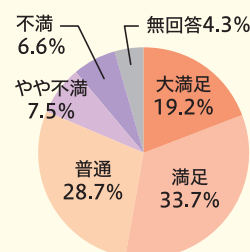
アンケート結果 (発送株主数:3,755名 回答者数:624名 回答率:16.6%)

【問】優待品の製品ごとの評価はいかがでしたでしょうか?(一部製品のみ掲載)

「国産生姜ごぼう茶」の評価

100株以上500株未満保有株主の方のご回答

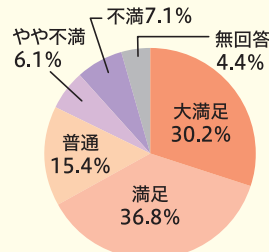
	人数(名)	割合(%)
大満足	85	19.2
満足	149	33.7
普通	127	28.7
やや不満	33	7.5
不満	29	6.6
無回答	19	4.3
合計	442	100.0



「NH冷凍厚焼玉子ML2 20#カット」の評価

500株以上保有株主の方のご回答

	人数(名)	割合(%)
大満足	55	30.2
満足	67	36.8
普通	28	15.4
やや不満	11	6.1
不満	13	7.1
無回答	8	4.4
合計	182	100.0



100株以上
500株未満

500株以上
※一部、優待品は
1,000株以上の方
のみ

【優待品への評価】

- ・ごぼう茶がおいしい、かつ健康的である
- ・入っている製品の種類のバランスが良い
- ・すぐ使える、手軽が良い
- ・1,000株以上での差があまり感じられない
- ・ごぼう茶も入れてほしい
- ・冷凍品ばかりで冷凍庫がいっぱいになるため、冷蔵品も入れてほしい
- ・選択制にしてほしい

■第1四半期 連結貸借対照表

科 目	前連結 会計年度	当第1四半期 連結会計期間
	2019年3月31日現在	2019年6月30日現在
(資産の部)		
流動資産	11,945	※1 12,181
現金及び預金	1,454	1,587
受取手形及び売掛金	6,298	6,103
商品及び製品	2,605	2,675
仕掛品	31	43
原材料及び貯蔵品	1,204	1,311
その他	363	464
貸倒引当金	△ 12	△ 4
固定資産	12,947	※2 13,486
有形固定資産	11,045	11,360
建物及び構築物	4,025	4,082
機械装置及び運搬具	2,643	2,750
土地	3,549	3,738
リース資産	98	93
その他	727	695
無形固定資産	134	285
ソフトウェア	99	195
リース資産	7	8
のれん	—	78
その他	27	3
投資その他の資産	1,768	1,840
投資有価証券	894	829
繰延税金資産	98	192
その他	834	875
貸倒引当金	△ 58	△ 57
資産合計	24,893	25,667

(単位: 百万円)

科 目	前連結 会計年度	当第1四半期 連結会計期間
	2019年3月31日現在	2019年6月30日現在
(負債の部)		
流動負債	10,475	※3 11,413
支払手形及び買掛金	2,795	2,904
短期借入金	5,048	5,962
リース債務	46	46
未払法人税等	268	106
賞与引当金	297	619
役員賞与引当金	46	57
その他	1,972	1,715
固定負債	2,001	※4 2,028
長期借入金	1,707	1,675
長期未払金	125	180
リース債務	75	71
退職給付に係る負債	36	22
資産除去債務	53	53
繰延税金負債	—	24
その他	1	1
負債合計	12,476	13,441
(純資産の部)		
株主資本	12,006	11,837
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	9,870	9,709
自己株式	△ 64	△ 73
その他の包括利益累計額	409	388
その他有価証券評価差額金	258	205
繰延ヘッジ損益	△ 1	△ 5
為替換算調整勘定	152	188
純資産合計	12,416	※5 12,226
負債純資産合計	24,893	25,667

注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

※1 流動資産は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し、12,181百万円となりました。
主な増減要因は、現金及び預金の増加132百万円、その他に含まれる前払費用の増加132百万円、原材料及び貯蔵品の増加106百万円、受取手形及び売掛金の減少195百万円であります。

※2 固定資産は、前連結会計年度末に比べ539百万円増加し、13,486百万円となりました。
これは、株式会社井口産交子会社化に伴う有形固定資産の増加に加え、投資その他の資産において、繰延税金資産が増加したためであります。

※3 流動負債は、前連結会計年度末に比べ937百万円増加し、11,413百万円となりました。
主な増減要因は、短期借入金の増加914百万円、賞与引当金の増加322百万円、その他に含まれる未払消費税等の減少190百万円、未払法人税等の減少161百万円であります。

※4 固定負債は、前連結会計年度末に比べ27百万円増加し、2,028百万円となりました。
主な増減要因は、株式会社井口産交の子会社化に伴う長期未払金の増加54百万円、約定返済に伴う長期借入金の減少32百万円であります。
なお、当第1四半期連結会計期間末の借入金残高は前連結会計年度末に比べ881百万円増加し、7,638百万円となっております。

※5 純資産合計は、前連結会計年度末に比べ190百万円減少し、12,226百万円となりました。
主な減少要因は、剰余金の配当による減少114百万円、その他の有価証券評価差額金の減少52百万円であります。

■第1四半期 連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
	2018年4月1日～ 2018年6月30日	2019年4月1日～ 2019年6月30日
売上高	10,596	※6 10,792
売上原価	7,660	7,922
売上総利益	2,936	2,870
販売費及び一般管理費	2,678	2,886
営業利益(△損失)	257	※7 △ 16
営業外収益	121	52
営業外費用	11	78
経常利益(△損失)	367	※8 △ 42
特別利益	—	0
特別損失	6	2
税金等調整前四半期純利益(△損失)	360	△ 43
法人税等	91	2
親会社株主に帰属する四半期純利益(△損失)	268	△ 46

※6 販売面におきましては、つくば工場の生産品を軸とした新規開拓・深耕拡大への取り組みを実施してまいりました。また、外食業態やベーカリー市場など当社としては新たな業態に向けての販売促進活動にも注力いたしました。これらの結果、当社主力製品である玉子焼類や蒲鉾類、水産物を中心とした仕入商品などの売上が拡大いたしました。
ヘルスフード事業におきましては、テレビCMを中心とした販促・広告活動を積極的に行いました。しかしながら、通信販売の売上は、前年同四半期を下回る結果となりました。また、ドラッグストアなどの市販品の売上も、新規開拓やインスタプロモーションの強化を行いましたが、前年同四半期実績並みにとどまりました。
以上の結果、売上高は前年同四半期比1.9%増加の10,792百万円となりました。

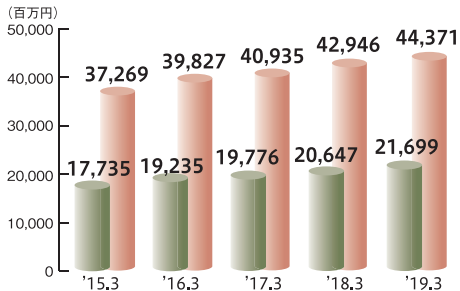
※7 売上高の伸張はあったものの、人件費や車両費が大幅に増加したことや、ごぼう茶の広告宣伝、営業拠点の整備など、次期成長拡大に繋がる戦略的経費の計上を行ったことなどにより、営業損失は16百万円となりました。

※8 デリバティブの時価評価損などにより、経常損失は、42百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は、46百万円となりました。

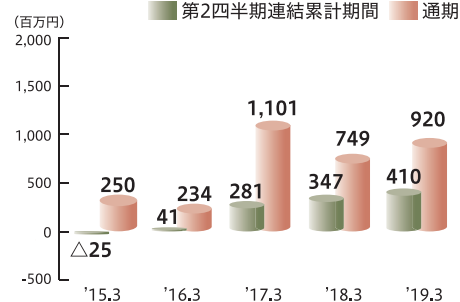
注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績の推移

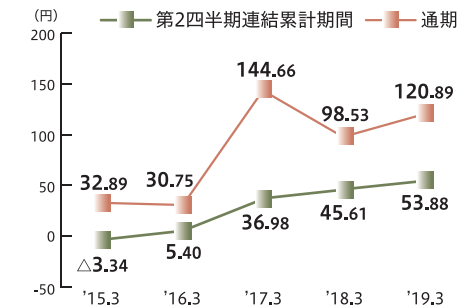
売上高



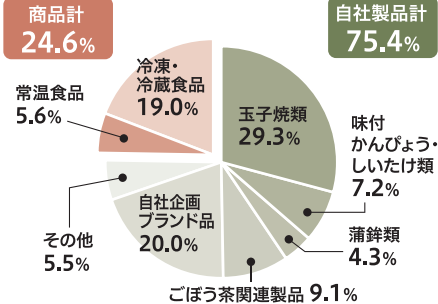
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益(△損失)



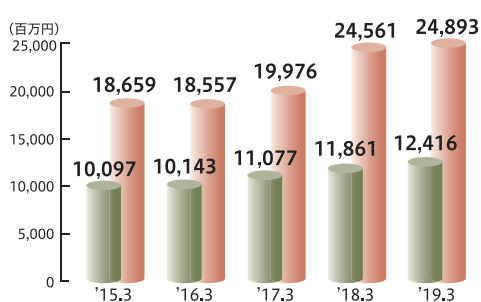
1株当たり当期(四半期)純利益(△損失)



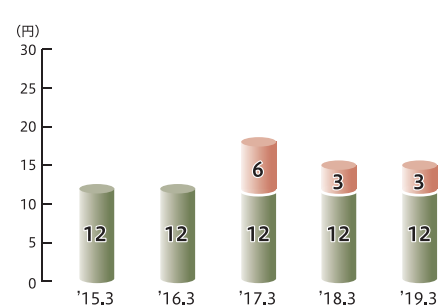
売上構成比('19年3月期)



総資産・純資産



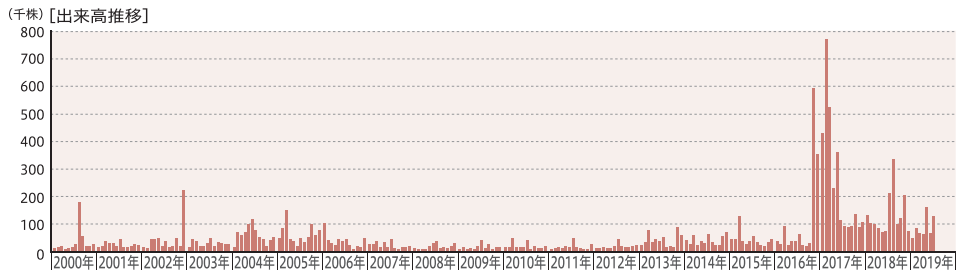
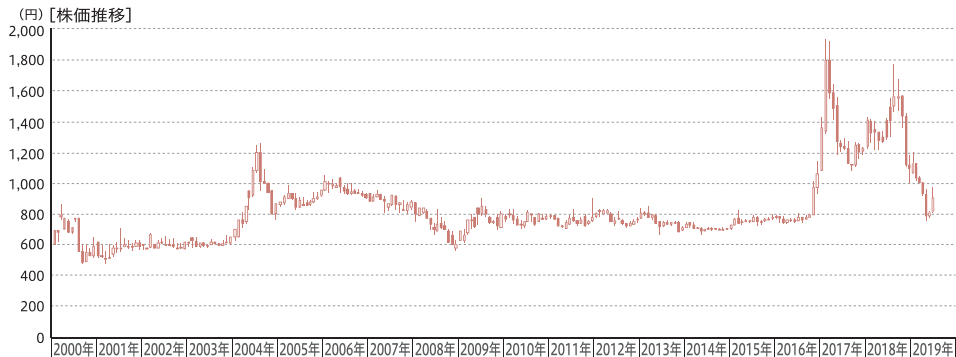
1株当たり配当金



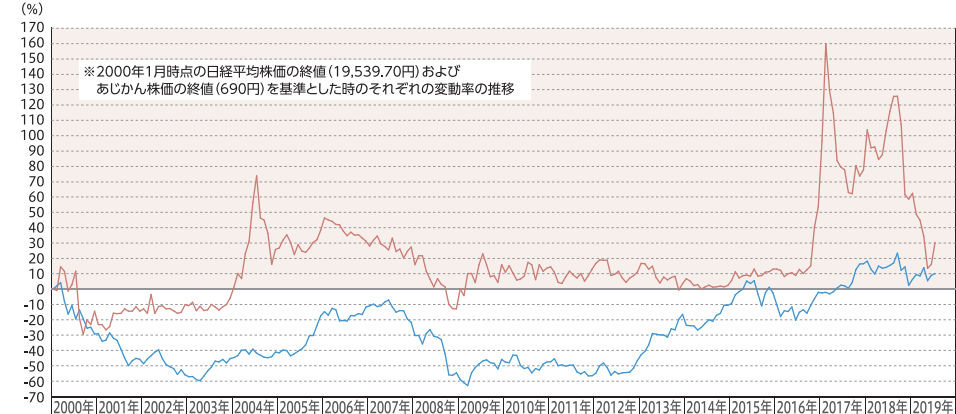
注) 金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株価・出来高の推移 ※東証2部市場

証券コード：2907



日経平均株価とあじかん株価の推移の比較



IR Information

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 (定時株主総会) 3月31日
(期末配当) 3月31日
(中間配当) 9月30日(前期中間配当は未実施)
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 上場証券取引所 東証2部
- 公告の方法 電子公告
(公告掲載URL) <https://www.ahjikan.co.jp/>
※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、
日本経済新聞に掲載する方法で行います。

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

会社概要

商 号 株式会社あじかん (AHJIKAN CO.,LTD.)
 設 立 年 月 日 1965年3月19日 (創業 1962年)
 主要な事業内容 鶏卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の
 製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売



- 小誌についてのご意見は『膳』P.18のお便りコーナーまでお寄せください。●